

BUSINESS REPORT

へんしもの

第41期 [平成23年4月1日～平成24年3月31日]



マイクロ波抽出装置 EXT-V200P12



■高知県認定
■環境配慮型事業所■

兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長
山本 吾一



代表取締役社長
山口 隆士

CONTENTS

- 1 株主の皆様へ
- 2 財務ハイライト
- 3 財務諸表
- 5 事業概要
- 7 トピックス
- 10 会社情報

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、第41期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

営業の概況等

当期における我が国経済は、東日本大震災等による落ち込みから、サプライチェーンの復旧や震災の復興需要等に伴い、緩やかな持ち直しをみせておりますが、円高や欧州の金融不安等により、先行きの不安を払拭できない状況が続いております。

このような状況の中で当社は、中期経営計画(3ヶ年)「未来への創造」の中間年度として、「技術の兼松」を再構築し、「顧客信用度“ナンバー1”企業」となるべく、取り組んでまいりました。

業績全般におきましては、第1四半期は東日本大震災によりシャーシの搬入が不安定となり、生産活動や業績に影響がりましたが、その後は東日本大震災の復旧関連や工場向けの需要により受注が好調で、生産体制を強化し対応いたしました。

主力製品では、工場関係向け強力吸引作業車や粉粒体吸引・圧送車の売上が伸び、「ネオモビル(空冷式吸引作業車)」の東北地方を中心と

した拡販も進み、また高圧洗浄車も好調な結果となりました。

特殊製品では、柑橘類果皮から精油を採る等の「マイクロ波抽出装置」や、官公庁及び高速道路会社向けの「リサイクルコンビ(水循環式排水管清掃車)」「トンネル洗浄水処理車」等の売上がありました。

その他にも、海外ではODAによる東南アジア向け売上があり、また、部品販売は好調に推移しております。

この結果、当期の受注高、受注残高、営業利益、経常利益及び当期純利益は株式上場以来、最高額を計上することができました。

業績(数値)につきましては、前期に比べ受注高は1,815百万円増の6,958百万円(前期比35.3%増)、売上高は1,459百万円増の5,970百万円(前期比32.4%増)となりました。収益面につきましては、営業利益は363百万円増の438百万円(前期比482.7%増)、経常利益は360百万円増の459百万円(前期比361.4%増)、当期純利益は165百万円増の258百万円(前期比178.5%増)を計上することとなりました。

今後とも、「環境整備機器の総合メーカー」を目指し、中期経営計画「未来への創造」の最終年度として取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

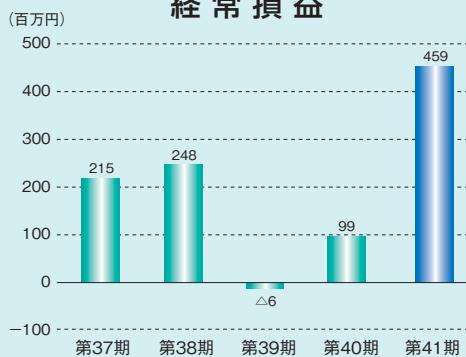
売上高



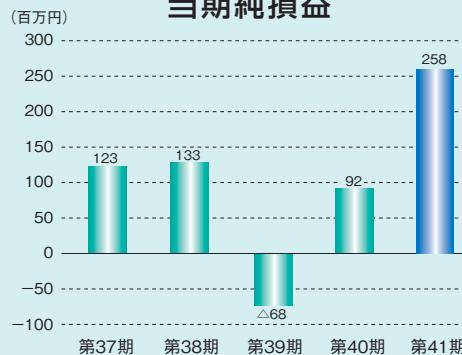
営業損益



経常損益



当期純損益



1株当たり当期純損益



1株当たり純資産



●貸借対照表

(単位:千円)

資産の部
 総資産は、前期末に比べ1,506百万円増加し、6,099百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加813百万円、現金及び預金の増加360百万円及び売上債権の増加337百万円等によるものであります。

負債の部
 負債は、前期末に比べ1,294百万円増加し、3,270百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加925百万円、未払法人税等の増加165百万円及び前受金の増加113百万円等によるものであります。

純資産の部
 純資産は、前期末に比べ211百万円増加し、2,828百万円となりました。これは主に、剰余金の配当51百万円はありましたが、当期純利益258百万円を計上できたこと等によるものであります。

科 目	当 期 (平成24年3月31日)	前 期 (平成23年3月31日)	増 減 (△印減)
(資産の部)			
流動資産	4,049,549	2,531,216	1,518,332
固定資産	2,049,714	2,061,587	△ 11,873
有形固定資産	1,758,059	1,776,165	△ 18,105
無形固定資産	21,928	10,043	11,885
投資その他の資産	269,725	275,378	△ 5,652
資産合計	6,099,263	4,592,803	1,506,459
(負債の部)			
流動負債	2,897,896	1,606,675	1,291,220
固定負債	372,788	369,046	3,741
負債合計	3,270,684	1,975,722	1,294,961
(純資産の部)			
株主資本	2,822,785	2,615,982	206,803
資本金	313,700	313,700	—
資本剰余金	356,021	356,021	—
利益剰余金	2,154,838	1,948,034	206,803
自己株式	△ 1,773	△ 1,773	—
評価・換算差額等	5,793	1,098	4,694
純資産合計	2,828,579	2,617,081	211,498
負債純資産合計	6,099,263	4,592,803	1,506,459

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	増 減 (△印減)
売上高	5,970,497	4,510,860	1,459,636
売上原価	4,389,584	3,434,697	954,886
割賦販売未実現利益戻入額	—	3,275	△ 3,275
売上総利益	1,580,912	1,079,437	501,474
販売費及び一般管理費	1,142,428	1,004,184	138,243
営業利益	438,484	75,253	363,230
営業外収益	22,925	26,453	△ 3,527
営業外費用	1,724	2,081	△ 356
経常利益	459,685	99,625	360,059
特別利益	389	29	359
特別損失	7,538	9,479	△ 1,941
税引前当期純利益	452,536	90,175	362,360
法人税、住民税及び事業税	194,891	20,864	174,027
法人税等調整額	△ 470	△ 23,368	22,898
当期純利益	258,116	92,680	165,435

売上高

当社主力製品の強力吸引作業車が前期比19.4%増の3,312百万円、汚泥吸引作業車が54.8%増の157百万円、高圧洗浄車が83.9%増の699百万円等となり当期売上高は、5,970百万円となりました。

当期純利益

東日本大震災の復旧関連や工場向けの需要により受注が好調で、東北地方を中心とした拡販も進み、当期純利益は株式上市以来最高額の258百万円(前期比178.5%増)を計上することとなりました。

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当 期 (自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	増 減 (△印減)
営業活動によるキャッシュ・フロー	477,563	276,354	201,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 122,661	△ 68,199	△ 54,462
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,081	△ 75,813	16,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 656	△ 619	△ 37
現金及び現金同等物の増加額	295,163	131,721	163,441
現金及び現金同等物の期首残高	474,352	342,630	131,721
現金及び現金同等物の期末残高	769,516	474,352	295,163

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

●強力吸引作業車・汚泥吸引作業車 売上高 3,470 百万円

工場関係向けの需要が好調に推移し、また東日本大震災からの復旧作業を契機とした「空冷式吸引作業車」の普及や、「低騒音強力吸引作業車」の浸透もあり、受注・売上ともに前期より大幅に増加しております。

〈用途〉

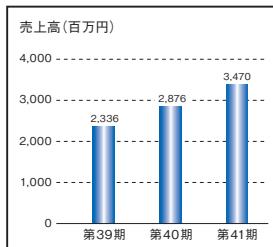
- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 粉粒体の長距離吸引



強力吸引作業車 (SM-06BVP)



空冷式超強力吸引作業車 (NSR-13CWP)



●新製品 ●部品販売・修理等 売上高 1,373 百万円

新製品やその他の区分に属さない製品等が含まれております。

当期は柑橘類果皮から精油を採る等の「マイクロ波抽出装置」が5台、官公庁及び高速道路会社向けの「水循環式排水管清掃車」が5台、ODAによる東南アジア向け排水ポンプ車やデモ車の販売を含み大幅に増加しております。

部品販売は好調に推移し、受注・売上ともに前期より増加しております。



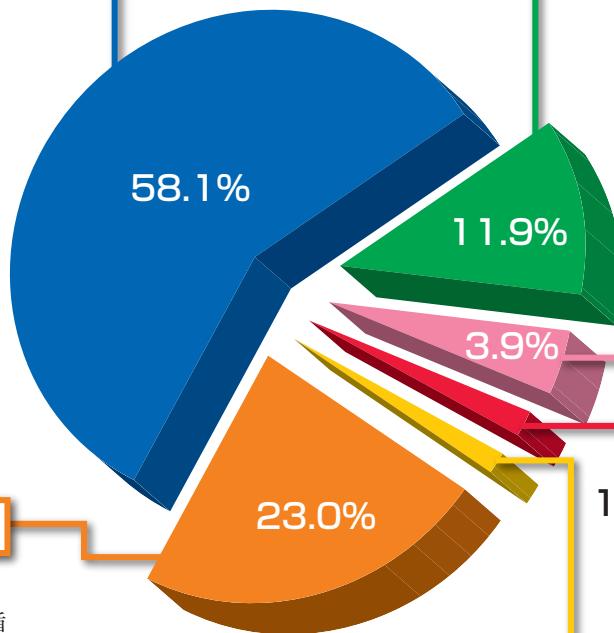
海岸清掃車 (BC-55)



部品: ルーツブロワー



製品別売上高構成比



売上高合計
5,970百万円

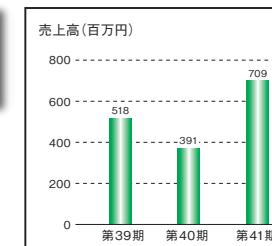
●高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車・定置型高圧洗浄機 売上高 709 百万円

東日本大震災からの復旧作業向けや、厳しい環境下での買い控えの反動による買替需要等もあり、受注・売上ともに前期より大幅に増加しております。

- 〈用途〉
- 下水道管の洗浄
 - ビル配管システムのメンテナンス
 - 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-03W1714A)



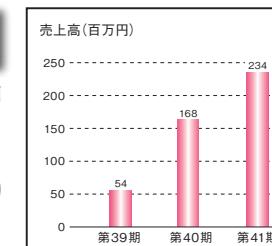
●粉粒体吸引・圧送車 売上高 234 百万円

製鉄・工場関係での需要が前期から継続して好調で、売上は大幅に増加しております。

- 〈用途〉
- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
 - 焼却灰の回収運搬



空冷式粉粒体吸引・圧送車 (NSR-16BWYT)



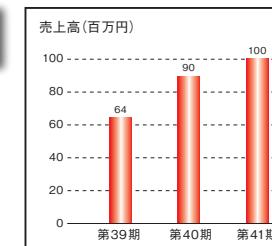
●定置型吸引機 売上高 100 百万円

当期は造船関係を中心に引き合いがあり、受注・売上ともに前期より増加しております。

- 〈用途〉
- 塗装プラストの回収
 - 工場内清掃
 - フライアッシュの回収



定置型吸引機 (EL-75S)



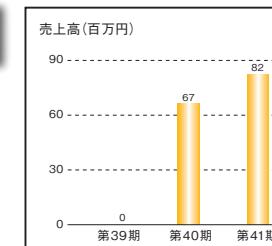
●汚泥脱水機(車) 売上高 82 百万円

受注は減少しておりますが、売上は増加しております。

- 〈用途〉
- 建設汚泥の脱水・リサイクル
 - 中間処理施設での脱水
 - 生コン汚泥の脱水・リサイクル



トンネル洗浄水処理車 (SP-04DB)



車載式では国内最大級の風量を誇る 超強力吸引作業車

パワープロベスター



SU-16BWP

特徴

- クラス最大の風量 $140\text{m}^3/\text{min}$ を実現しました。
- $\phi 200\text{mm}$ の吸引管の使用により、長距離や高揚程の吸引作業で作業時間を短縮できます。
- 大型※ブローター搭載で、大風量でありながら作業時のエンジン回転数は従来機同様です。

※ブローターとは吸引力を生み出す装置です。

東南アジア向けに16台を納入

平成24年3月、ODAによる東南アジア向けに冠水対策用排水ポンプ車2台と下水管清掃車14台を納入しました。

検収用に並べた車両



砂浜の清掃に最適な海岸清掃車

ビーチクリーナー



特徴

- 砂浜表面のゴミを掻上装置で回収し、砂とゴミを分離します。
- 整砂装置にて清掃後の砂浜表面を均し美しい仕上がりにします。

マイクロ波抽出装置が「高知県地場産業大賞」 「四国産業技術大賞 革新技術賞優秀賞」をW受賞

マイクロ波抽出装置が平成24年2月14日に「第26回高知県地場産業大賞」を、また平成24年3月9日に「2011四国産業技術大賞 革新技術賞優秀賞」を受賞しました。今後は、装置の抽出対象物の多様化、多量処理等の高機能化を進めていく計画です。



高知県地場産業大賞の盾と賞状



四国産業技術大賞の賞状

●「減圧蒸留型抽出装置」とは「マイクロ波抽出装置」の正式名称です。

札幌営業所を移転開設

平成23年12月1日より東北・北海道支店千歳営業所は、お客様の利便性向上を図るため札幌市へ移転し、「札幌営業所」と名称を変更しました。

住 所：〒004-0041 北海道札幌市厚別区大谷地東1丁目3番23号
あつぱく おおや ち
 さんゆう
 山勇ビル2階
 電話番号：011-893-0861 FAX番号：011-893-0860

札幌営業所の入居ビル



2012中国国際環境博覧会に出展

平成24年3月7～9日、上海新国際博覧センターで中国最大規模の環境技術博覧会である「2012中国国際環境博覧会」が開催され、当社と技術提携している重慶耐德山花特種車有限責任公司(中国)が強力吸引作業車、高圧洗浄車を出展しました。

展示ブースの様子



● 会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
 資本金 313,700,000円
 従業員数 156名
 事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
 環境整備機器の製造販売

● 役員

代表取締役会長 山本 吾一
 代表取締役社長 山口 隆士
 常務取締役 佃 維男
 取締役 山本 琴一
 仮常勤監査役 中村 修身
 社外監査役 西岡啓二郎
 社外監査役 平井 雄一

● 事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
 TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167
技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
 TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032
東日本支社
東京支店 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ601号
 TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2階
 TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル2階
 TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店 〒452-0809 名古屋市西区花原町40
 TEL (052) 501-3171 FAX (052) 501-3095
西日本支社
大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店 〒739-0026 東広島市三永2-8-16 太田ビル1階
 TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6階
 TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

● 株式の状況

会社が発行する株式の総数 13,520,000株
 発行済株式の総数 4,276,043株
 (自己株式3,957株を除く)
 株主数 565名

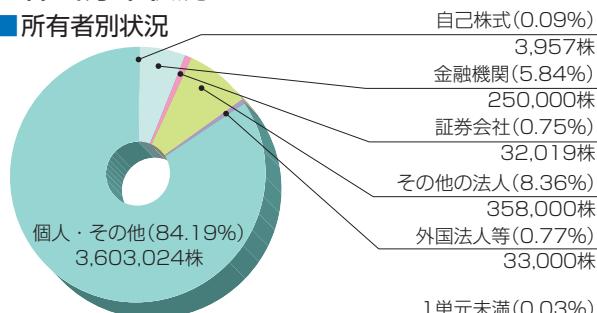
大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	447,000株	10.45%
三谷浩溢	327,200株	7.65%
山本琴一	324,000株	7.58%
株式会社扇港鋼業所	251,000株	5.87%
山口隆士	236,640株	5.53%
山本吾一	202,200株	4.73%
柳川裕司	148,200株	3.47%
株式会社四国銀行	117,000株	2.74%
坂本洋介	102,960株	2.41%
板垣周	83,000株	1.94%

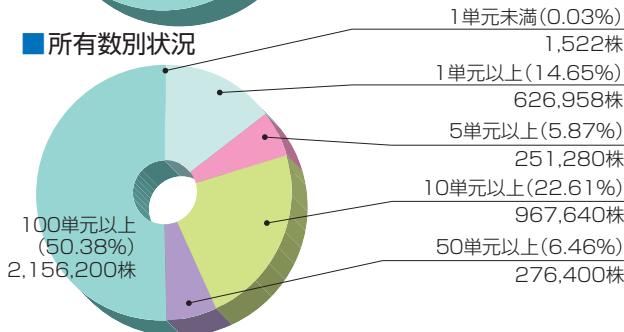
(注) 持株比率は、自己株式(3,957株)を控除して計算しております。

● 株式分布状況

■ 所有者別状況



■ 所有数別状況



●株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告掲載新聞 日本経済新聞

上場証券取引所 大阪証券取引所市場第2部

 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL:(088)845-5511 FAX:(088)845-5211

<http://www.kanematsu-eng.jp/>

 
古紙配合率100%再生紙
このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しております。